

上田高64期生が奇贈！  
高校に進路希望実現支援金70万円  
同窓会に「御屋形復元CGパネル」

上田高校を昭和41年3月に卒業した64期生（9クラス・450人）は18日、卒業50周年を記念して同校に生徒の進路希望実現支援金70万円を贈呈。また同校敷地の元上田藩主・御屋形を復元したCGパネルを、同高同窓会に奇贈した。

64期生は50周年記念



CGパネルの前で（写真右から）日置理事長、平野さん、金子さん、久保田さん



内堀校長（写真右）に目録を渡す64期代表

「生徒、みんなに見てもらいたい。藩主への思いが深まり、いいこと」とし、「母校のため頑張ってくれているから有り難い」と話した。

として昨年、代議員らにより六十四期卒業五十年記念寄付委員会（平野仁一会長）を組織し、昨年11月から募金を開始。今年1月末までに約95万円が集まったという。この日は平野会長（9組）と金子哲也さん（2組）、久保田昌人さん（1組）が来校し、内堀繁利校長に目録を手渡した。

進路希望実現支援金は、県内2校目のスーパードローバル・ハイスクール指定校の同校生徒が、

希望する進路を実現させるための取り組みを

支援するもの。74期生でもある内堀校長は「生徒の学習支援として使わせてもらう。新しい取り組みをやっているのので有り難い」と、感謝の言葉を伝えた。

CGパネルは幅1.4740m、縦70cm。同窓会館1階、東山魁夷の絵の横に設置された。パネル左に江戸時代後期の御屋形古図（松平神社旧蔵・上田市立博物館蔵）、右にその図から立体的に復元された屋敷が描かれている。パネルは64期の清水淳郎さんの経営する、株式会社（東京都）が制作した。同高同窓会・日置勇二理事長は